

超党派の市議5人で市長に申し入れ ゴミ焼却場建設は再検討を



市長（右端）に申し入れを手渡す泉武弘市議（右から2人目）。続いて右から野田紀子市議、池田康雄市議、平野文活市議、えんど久子市議。
2009年10月1日 別府市長室にて

初めて他会派の議員も一緒に

1日の処理能力235トン、建設費約130億円、維持管理費約128億円（H40年まで）、合計260億近い莫大な予算でゴミ焼却場（藤ヶ谷清掃センター）が建設されようとしています。

日本共産党議員団はこれまでも一貫して、ゴミ焼却場の規模縮小などを求めてきました。この問題で10月1日、別府速見広域事務組合の管理者でもある浜田博市長に申し入れを行ないました。

今回の申し入れの主旨は次の4点です。

1. ゴミ減量をすすめ、施設規模を縮小すること。
2. プラスティックなどの分別収集をすること。
3. 事業者選定委員会に環境行政担当者を入れること。
4. 提案書の受付は性急には行なわないこと。

この申し入れに対し、

浜田市長は「処理方式、事業方式は広域議会での議論してきたことであり、原点に戻ってということはできない」と答えました。

地球温暖化の問題が深刻な中、市の財政もきびしい中、ゴミ減量をすすめて少しでも小規模の施設にするため、今後ともがんばります。

主張が実り選定委員を変更

ゴミ焼却場の件で、日本共産党議員団としてこれまで2回申し入れをしました。その後、私たちの主張が実り、事業者選定委員から議員がはずれ、代わりに専門家が入りました。

市長は予定どおりにと回答

この議会報告は、政務調査費で作成しています。みなさんのご意見ご要望などをお寄せ下さい。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.400
2009.10.14.

TEL・FAX 平野文活21-6749・野田紀子22-9253・えんど久子25-7630
<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>

高齢者や障がい者のため ゴミのふれあい収集を 日本共産党のえんど久子市議が要求



厚生消防委員会視察で我孫子市を訪れ
清掃事業について勉強。

09. 7. 9.

玄関口までゴミを収集に

猿渡（えんど）久子市
議は、9月議会で、ゴミ
の「ふれあい収集」の実
現を求めました。

このふれあい収集は、
ひとり暮らしで介護が必
要な高齢者や障がい者の
ため、玄関までゴミ収集
に行くというものです。
厚生消防委員会で視察
に行った千葉県我孫子
（あびこ）市など多くの
自治体で実施しています。

ひと声かけながらの収集も

大阪府豊中市などでは、
声をかけながらゴミを収
集し、福祉部門とタイアッ
プして必要に応じ福祉に

アパートの上階や路地の奥にも

別府市環境課は、「別
府市では、路線収集に切
りかえ8割の世帯が自宅
前にゴミを出している」
と答弁しました。えんど
市議は、「路地の奥やア
パート・マンションの上
階に住む方など、困って
いる方がいる。私のところにも体が不自由でゴミ
出しで困っていると相談
があった。早い時期に実
施してもらいたい」と再
質問。市は再答弁で「今
後の調査・研究課題とし
たい」と答弁しました。

実現にむけ声を上げま
しょう。



コスモス

「えんど久子」検索でホーム
ページ「はっぴーえんど・どっ
とねっと」をぜひご覧下さい。
<http://www.happyendo.net/>